豊中市浸水ハザードマップ
（内水はん濫）

平成18年8月22日に発生した大雨は、市域の限られた地域で、猛烈な雨が短時間に降ったことから、床上浸水等の甚大な浸水被害が発生しました。こういった局地的大雨が発生すると、短時間で下水道に雨水が一気に集まり、流しきれない雨水が溢れることによって浸水被害が発生します。

局地的大雨が近年増加していることもあり、こちらの面には、大雨時に下水道が溢れる場合を想定し、浸水箇所とその深さを表示していますので、住んでいる地域の浸水状況や、浸水時の避難場所を確認していただき、浸水被害を最小限とするよう、日ごろから備えていただければと思います。（避難場所の住所や連絡先については、裏面をご覧ください。）

また、浸水被害に備えるためには、最新の気象情報の発表や、避難準備情報の発令等、情報取得も非常に大切です。これらの情報を取得する方法にも日ごろから気を配ってください。

平成27年4月　豊中市

この地図のお問い合わせ先
危機管理課 ☎06-6858-2683 FAX06-6858-2667
下水道建設課 ☎06-6858-2955 FAX06-6846-5830

ハザードマップの活用方法　このハザードマップを以下のように活用しましょう！

日常の備え

自宅確認		
●浸水想定区域内にあるか	自宅が浸水被害を受けると予想される区域内にあるか確認しましょう。	◆浸水想定区域図（裏面も確認要） ※自宅の位置を確認してください。
●土砂災害の恐れがないか	土砂災害警戒、特別警戒区域を確認しましょう。	◆浸水想定区域図（裏面も確認要） ※自宅周辺での有無を確認。
●自宅が2階以上あるか	高い場所（2階以上）へ避難が行えるか確認しましょう。	◆家のチェック
●自宅に地下ガレージ、地下室があるか	浸水被害の危険性が高いことから注意しましょう。	◆地下室などの危険性
●家の構造は、強固か	浸水深が深かったり風速が大きい場合、木造家屋等は倒壊の危険があります。	◆家のチェック
●自宅への雨水浸入箇所	住宅の床下には、通風目的の開口があり、そこから雨水が浸入する場合があります。またその他の箇所も日常の確認が必要です。	◆家のチェック
●自宅周辺の雨水排水施設	位置を確認しておき、ごみ等による詰りがないか確認しましょう。	◆家のチェック ◆浸水被害への備え
避難施設の確認		
●避難施設はどこか	最寄りの避難施設を確認しましょう。	◆浸水想定区域図（裏面も確認要） ◆避難施設一覧（裏面記載）
●避難経路上に浸水想定区域がないか	避難施設までの安全な経路を確認しておきましょう。	◆浸水想定区域図（裏面も確認要） ◆アンダーパスに注意（裏面記載）
●避難経路の想定	増水する河川や土砂災害の恐れがある箇所を避けた避難経路を確認しておきましょう。	◆浸水想定区域図（裏面も確認要）
各自の避難マップの作成		
●上記に注意して、自宅から安全に避難を行える経路を示したオリジナルマップを作成しておきましょう。		◆避難施設や避難経路の確認（裏面記載）
●もしもの時に速やかな避難ができるよう備えておきましょう。		◆避難時の心得（裏面記載） ◆非常持ち出し品リスト（裏面記載）

災害時

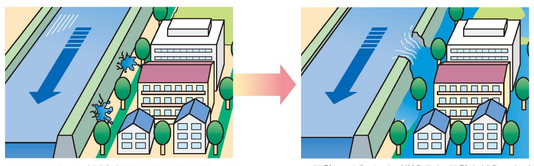
浸水被害への対応		
●気象情報の取得	注意報や警報の発表、避難指示の発令について確認しましょう。	◆雨の強さ ◆気象情報など ◆風の強さ ◆避難指示など（裏面記載）
●浸水被害に対する備え	土のうの準備、側溝等の雨水排水施設の確認を行いましょう。	◆浸水被害への備え
●地下ガレージ等がある場合	地下ガレージなどにおいてある物品の移動等を行いましょう。	◆地下室などの危険性
●避難方法の選択	降雨の状況を確認し、避難方法を考えましょう。	◆避難時の心得（裏面記載）
避難準備情報等の発令		
●速やかな避難	避難方法について、垂直避難（2階以上の高い場所への避難）を行うのか、水平避難（避難施設への避難）を行うのか判断をしましょう。浅い道路冠水でも、雨の強さによっては歩行が困難となります。また、1階の水没が予想される家屋は倒壊の恐れもあることから特に注意が必要です。	◆避難時の心得（裏面記載） ◆非常持ち出し品リスト（裏面記載） ◆避難施設や避難経路の確認（裏面記載）
避難行動		
●垂直避難の場合	自宅の2階以上または、近隣の高層建物の上層階に避難しましょう。	◆避難時の心得（裏面記載） ◆非常持ち出し品リスト（裏面記載） ◆避難施設や避難経路の確認（裏面記載）
●水平避難の場合	避難施設までの経路を示したオリジナルマップを基に避難を行いましょう。	◆避難時の心得（裏面記載） ◆非常持ち出し品リスト（裏面記載） ◆避難施設や避難経路の確認（裏面記載）

災害発生の恐れがある場合

洪水と内水はん濫の違いについて

●浸水には、台風時などの大雨により、河川から水があふれたり堤防決壊によって引き起こされる「洪水」と、局地的大雨などで、街中の排水が間に合わず支流や水路、下水道施設などからあふれ出す「内水はん濫」の2タイプがあります。

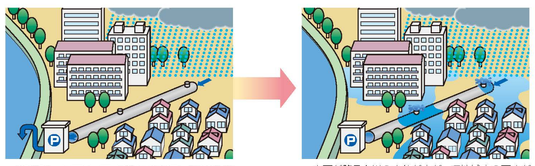
洪水のメカニズム



大雨によって地域内外の雨水が集まり、川の水が増え水かさが上がり始める。

堤防いっぱいに水が増えると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊して、家などに襲いかかる。

内水はん濫のメカニズム



街に降った雨は、下水道などを通って川に排水される。

大雨が降ると川の水位が上がって地域内の雨水が排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまう。

下水道の排水能力を超える雨が降った場合も、地域内の雨水が排水されず、地上にたまって道路の冠水、家屋や繁華街、地下街の浸水被害が起きる。

気象警報など

種類	発表される条件	主な発表基準
大雨・洪水注意報	大雨や洪水によって、災害が起こるおそれがあると予想される場合。	雨量が1時間に25mm以上あるいは、3時間に50mm以上
大雨・洪水警報	大雨や洪水によって、重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。	雨量が1時間に45mm以上あるいは、3時間に100mm以上
記録的短時間大雨情報	現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量である場合。	雨量が1時間に100mm以上
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨、もしくは数十年に一度の強度の台風になると予想される場合。	府県程度の広がりの範囲で、雨量が3時間に164mm以上48時間に322mm以上
雷注意報	落雷によって、災害が発生するおそれがあると予想される場合。また、発達した雷雲の下で発生することの多い、急な強い雨への注意についても呼びかけます。	同左
強風注意報	強風によって、災害が起こるおそれがあると予想される場合。	平均風速12m/s以上
暴風警報	暴風によって、重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。	平均風速20m/s以上
暴風特別警報	数十年に一度の強さの台風等により暴風警報基準値以上の風が吹くと予想される場合。	同左
津波注意報	津波によって災害が起こるおそれがあり、注意が必要な場合。	津波の高さが0.2m以上1.0m以下
津波警報	津波によって重大な災害が起こるおそれがあり、警戒が必要な場合。	津波の高さが1.0mを越え3.0m以下
大津波警報（特別警報）	従来からの警報のうち、危険度が非常に高いレベルの場合。	津波の高さが3.0mを越える

「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。
「特別警報が発表されない」は、「災害が発生しない」ではありません。気象情報等に注意して、早め早めの行動をとることが大切です。

風の強さ

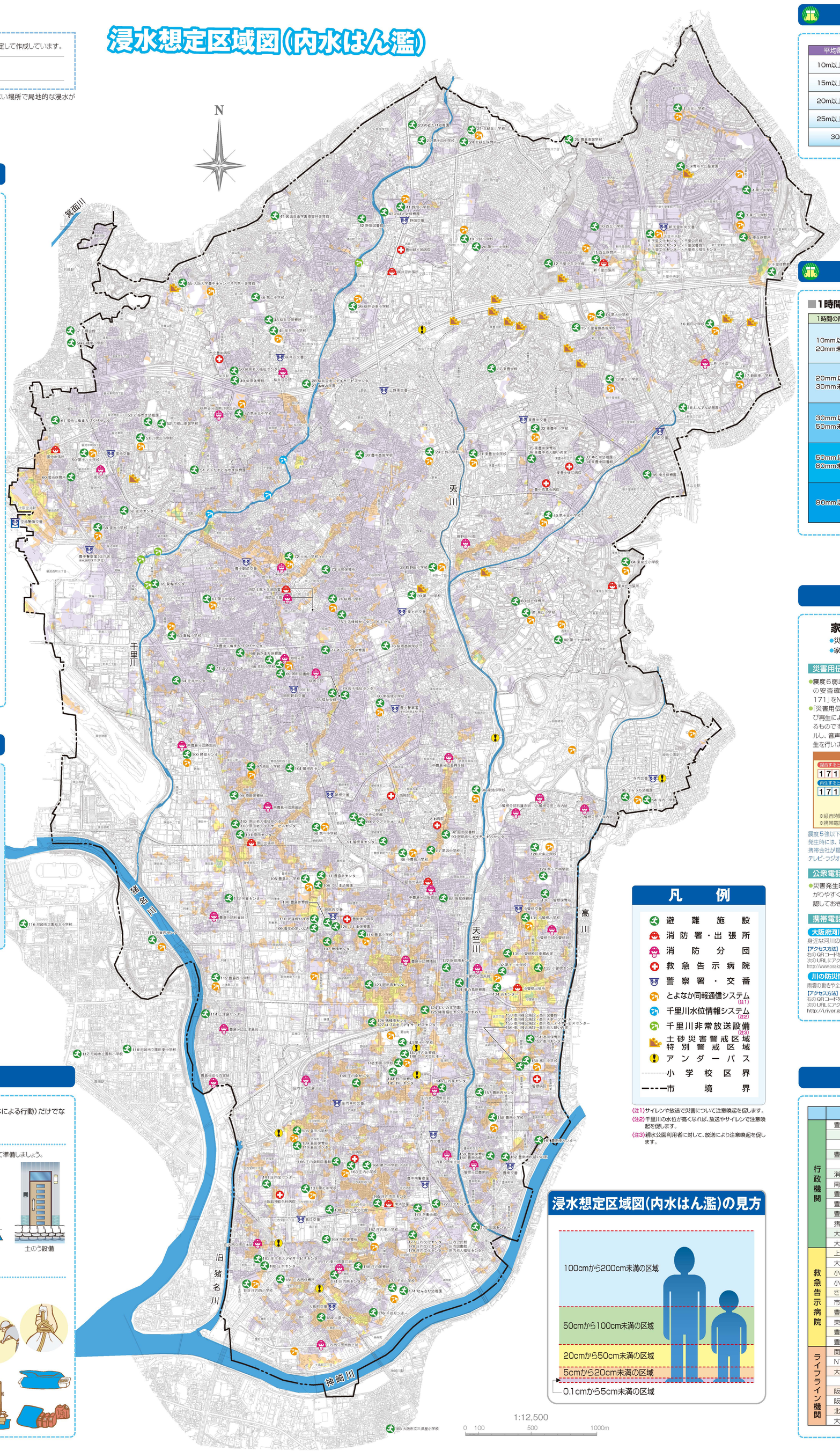
平均風速（毎秒）	予報用語	想定される被害
10m以上～15m未満	やや強い風	風に向かって歩きにくい
15m以上～20m未満	強い風	風に向かって歩くことができない
20m以上～25m未満	非常に強い風	しっかり身体を確保しないと転倒する
25m以上～30m未満		立っていられない・樹木が倒れる・屋外での行動は危険
30m以上～	猛烈な風	屋根が飛び、木造住宅の全壊がはじまる

雨の強さ

■1時間の雨量と降り方

1時間の雨量	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
10mm以上20mm未満	やや強い雨	ザーザーと降り、話し声が聞き取りにくくなる。	長く続く時は注意が必要。
20mm以上30mm未満	強い雨	どしゃ降りで傘をさしていても濡れてしまう。	テレビ、ラジオ等気象情報に注意し、避難の心構えが必要。
30mm以上50mm未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	崖崩れが起きやすくなり、道路の通行規制も行われることもあります。避難の準備が必要。
50mm以上80mm未満	非常に激しい雨	滝のようにゴーゴーと降りあたりが水しぶきで白っぽくなる。	中小の河川がはん濫し水害発生の可能性が高まる。避難勧告等がでる場合がある。
80mm以上	猛烈な雨	息苦しくなるような、圧迫感がある。恐怖を感する。	大雨による大規模な災害の発生が予測され、厳重な警戒が必要。

浸水想定区域図（内水はん濫）



凡例

- 避難施設
- 消防署・出張所
- 消防分団
- 救急告示病院
- 警察署・交番
- とよなか同報通信システム（注1）
- 千里川水位情報システム（注2）
- 千里川非常放送設備（注3）
- 土砂災害警戒区域 特別警戒区域
- アンダーパス
- 小学校区界
- 市境界

（注1）サイレンや放送で災害について注意喚起を促します。
（注2）千里川の水位が高くなれば、放送やサイレンで注意喚起を促します。
（注3）親水公園利用者に対して、放送により注意喚起を促します。

浸水想定区域図（内水はん濫）の見方

●想定に用いる降雨条件（内水はん濫）

浸水予測は、豊中市で最大となる局地的大雨が、全市域において降った場合を想定して作成しています。

●平成18年8月22日降雨（1日で116mm、※1時間で110mm）
※大きな雨が1時間で降っています。

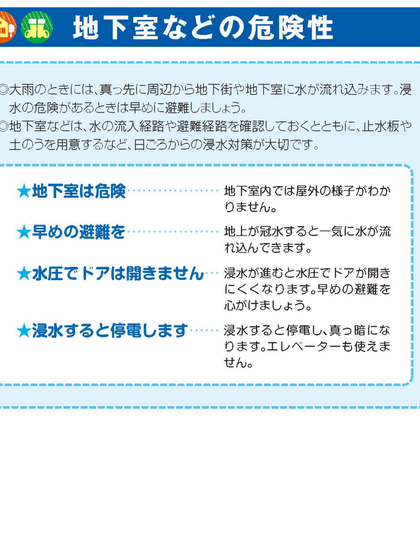
●雨の降り方や土地利用の形態の変化などの状況によっては、地図に着色していない場所で局地的な浸水が生じる場合や、浸水が深くなることがありますので注意してください。

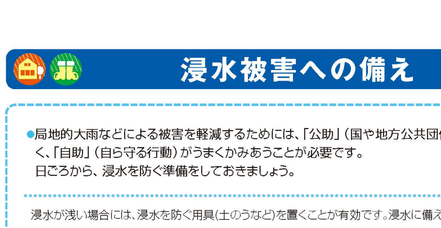
●出典データ（内水はん濫）

●内水はん濫解析（H27.3）……豊中市上下水道局

家のチェック

降雨時には、暴風雨のような雨も想定されるため、家の周りにある以下に示す箇所の点検も行ってください。





地下室などの危険性

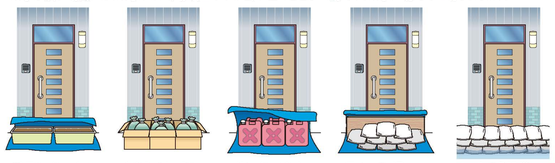
◎大雨のときには、真っ先に周辺から地下街や地下室に水が流れ込みます。浸水の危険があるときは早めに避難しましょう。
◎地下室などは、水の流入経路や避難経路を確認しておくとともに、止水板や土のうを用意するなど、日ごろからの浸水対策が大切です。

- ★地下室は危険……地下室内では屋外の様子がわかりません。
- ★早めの避難を……地上が冠水すると一気に水が流れ込んできます。
- ★水圧でドアは開きません……浸水が進むと水圧でドアが開きにくくなります。早めの避難を心がけましょう。
- ★浸水すると停電します……浸水すると停電し、真っ暗になります。エレベーターも使えません。

浸水被害への備え

●局地的大雨などによる被害を軽減するためには、「公助」（国や地方公共団体による行動）だけでなく、「自助」（自ら守る行動）がうまくかみあうことが必要です。
日ごろから、浸水を防ぐ準備をしておきましょう。

浸水が浅い場合には、浸水を防ぐ用具（土のうなど）を置くことが有効です。浸水に備えて準備しましょう。



●簡単な土のうの作り方

建物内への洪水の流入を防ぐために、土のうの作り方を知っておくと安心です。
①土のう袋を用意します。
②土を土のう袋の約7～8割ほど入れます。
③袋の端についているひもを縛り、緩まないようにしっかりと締めます。

●土のうの代用品

どうしても土のうの準備が間に合わない場合、家庭で使用している大きめのゴミ袋を二重にし、中に半分程の水を入れた「簡易水のう」を隙間なく並べる方法も有効です。（これらは、小規模な水害用で、水深が浅い初期の段階で使用します）。

そのとき、役に立つ知識

家族間の連絡方法（安否確認）

●災害直後には、あらかじめ家族内で決めておいた場所に集合し、安否を確認しましょう。
●家族と連絡がとれずに自宅を離れるときは、行き先などを書いた連絡メモを残しましょう。

災害用伝言ダイヤル

●震度6弱以上の地震が発生した場合などに、個人の安否確認手段として、「災害用伝言ダイヤル171」をNTTが運用します。
●「災害用伝言ダイヤル　171」は、伝言の録音および再生により、被災地内の家族との連絡を可能にするものです。この利用方法は、まず「171」をダイヤルし、音声のガイダンスにしたがって伝言の録音や再生を行います。事前の契約などは必要ありません。

震度5強以下の地震ならびにその他の災害（浸水被害含む）発生時には、電話の通信状況などを勘案し、NTTおよび、各携帯会社が提供の判断を行います。提供を開始に関しては、テレビ・ラジオ・NTTホームページ等を通じてお知らせします。

公衆電話

●災害発生時には、公衆電話は一般の回線よりつながりやすくなっています。公衆電話の設置場所を確認しておきましょう。

携帯電話での防災情報入手

大阪府河川情報
身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
【アクセス方法】
右のQRコードを読み込むか、次のURLにアクセスしてください。
http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/mobile/index.html

川の防災情報［国土交通省］
雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。
【アクセス方法】
右のQRコードを読み込むか、次のURLにアクセスしてください。
http://i.river.go.jp/

正確な情報の入手方法

●災害直時には、誤った情報や根拠のないデマが流れることがあります。これらに惑わされないように、正しい情報を入手して、落ち着いて行動しましょう。
●信頼できる情報源としては、以下のものがあります。

- ◆とよなか同報通信システム
  市内60ヶ所に設置されている防災用スピーカーから音声で緊急情報等をお知らせします。
- ◆テレビ、ラジオ
  被害状況は、テレビやラジオを通して知ることができます。テレビやラジオの放送には常に注意を傾けましょう。
  また、停電時は携帯ラジオを利用しましょう。
- ◆豊中・池田ケーブルネット
  コミュニティチャンネル（11チャンネル）では、市と同局が必要に応じて、地域の緊急情報を放送します。
- ◆FM千里（83.7MHz）
  必要に応じて災害情報を放送します。
  ※FM千里の可聴域に限られます。
- ◆広報車
  豊中市の広報車が直接地域を巡回し、避難情報などをお知らせします。
- ◆豊中市ホームページ
  http://www.city.toyonaka.osaka.jp/
  災害情報などを知ることができます。
- ◆豊中市雨量情報
  http://toyonaka-suibou.jp/citizen/rainful_day.html
- ◆気象庁ナウキャスト
  http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/
- ◆おおさか防災ネットのホームページ
  http://www.osaka-bousai.net/toyonaka/
  気象情報やライフライン情報、災害発生時の被害・避難情報など、幅広い防災情報が提供されています。また、あらかじめメールアドレスを登録された人を対象に、災害情報などが携帯メールに配信されます。（携帯電話・PHSで受信可）

防災関連機関 電話番号一覧

	連絡先	住所	電話番号
行政機関	豊中市役所	中桜塚3-1-1	☎06-6858-2525（代）
	（庄内出張所）	庄内幸町5-8-1	☎06-6334-3531
	（新千里出張所）	新千里東町1-2-2	☎06-6872-0573
	豊中市上下水道局	北桜塚4-11-18	☎06-6858-2911
	（休日・夜間）		☎06-6858-2971
	消防局・北消防署	岡上の町1-8-24	☎06-6853-2345
	南消防署	庄内幸町5-7-1	☎06-6334-3451
	豊中警察署	南桜塚3-4-11	☎06-6849-1234
	豊中警察署（仮庁舎）	蛍池西町3-4-12	☎06-6849-1234
	豊中南警察署	庄内西町5-1-10	☎06-6334-1234
	猪名川河川事務所	大阪府池田市上池田2-2-39	☎072-751-1111
	大阪府西大阪治水事務所	大阪市西区江之子島2-1-64	☎06-6541-7771
	大阪府池田土木事務所	池田市城南1-1-1	☎072-752-4111
救急告示病院	上田病院	庄内幸町4-28-12	☎06-6334-0831
	大阪脳神経外科病院	庄内宝町2-6-23	☎06-6333-0080
	小曽根病院	豊南町東2-6-4	☎06-6332-0135
	小西病院	曽根東町2-9-14	☎06-6862-1701
	さわ病院	城山町1-9-1	☎06-6865-1211
	市立豊中病院	柴原町4-14-1	☎06-6843-0101
	豊中渡辺病院	服部西町3-1-8	☎06-6864-2301
	東豊中渡辺病院	東豊中町5-35-3	☎06-6849-2121
	豊中若葉会病院	東豊中町5-13-18	☎06-6856-9550
	豊中緑ヶ丘病院	西緑丘1-1-31	☎06-6849-2517
ライフライン機関	関西電力北摂営業所	豊中市浜4-2-2	☎0800-777-8015
	NTT西日本 豊中営業所	北桜塚1-4-1	☎116・113（故障）
	大阪ガス大阪お客様センター	東大阪市稲葉2-3-17	☎0120-5-94817
	（ガスもれ通報専用）	東大阪市稲葉2-3-17	☎0120-5-19424
	阪急電鉄豊中駅	本町1-1-1	☎06-6852-4153
	阪急バス	庄内西町5-1-24	☎06-6866-3172
	北大阪急行電鉄	寺内2-4-1	☎06-6865-0601（代）
	大阪モノレール	新千里東町1-1-5	☎06-6871-8281（代）

平成27年4月現在